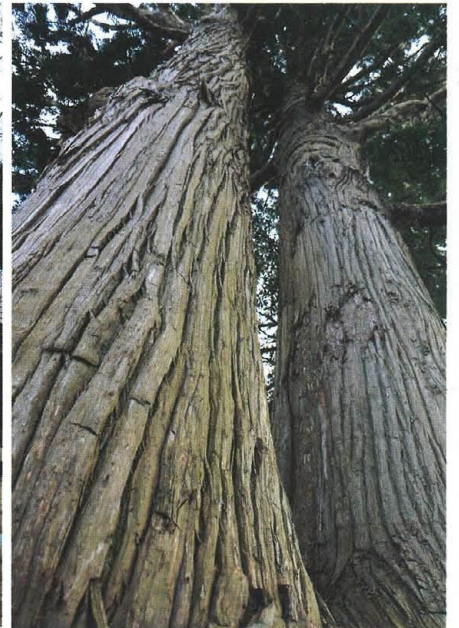


八幡平いにしえの室

(市内にある指定文化財を紹介します)



だいじんぐう めおと すぎ 大神宮の夫婦杉と巨木群

所在地：松尾寄木第27地割144番地内(氏子会所有)
指定年月日：昭和50年10月11日(旧松尾村)

昭和50年の調査時で推定樹齢350年以上、幹周りの太さ4.3m、高さ20mと太さ3.9m、高さ25mの2本が根元でつながっている老杉です。ここ大神宮(天照皇大神宮)には夫婦杉のほかに、幹周り4.4m、高さ24mの姥杉のほか、幹周り3.98mと2.62mのサワラの巨木2本があり、いずれも推定樹齢350年以上で、夫婦杉とともに市の文化財指定を受けています。夫婦杉はカップルで手をつなぎ右に3周回ると夫婦円満、家内安全、子孫長久の願いがかなえられ、一人の場合は左に3周回することで復縁などがかなうと伝えられています。

大神宮の社殿は神仏分離令発布の明治元年(1868年)を受けて建てられたようですが、神社の創建年代は不詳とされています。境内地は、神社群の中心地であるとともに、井森、五の平のイチョウなどの巨木群、館、鷹子などの地名や地形などからも由緒ある場所であったことをうかがわせます。坂上田村麻呂が創建し、伽藍壮大な古刹といわれた「龍験寺」のあった場所ではないかなど諸説があり、巨木を仰ぎながら古代史に思いをめぐらすには格好の場所ともいえます。

(文・八幡平市文化財保護審議会委員 畑謙吉)

《参考文献》松尾の文化財(1980年、1983年松尾村教育委員会)、西根地方の文化財～松尾村の巻(1977年佐藤連蔵=北光タイムス連載)、岩手郡の伝説(1979年太田忠雄)、神仏習合の本(2008年学研)

編集後記

子どもの頃は、お正月と
いうとワクワクしたものが
(お年玉とかですが、近頃は
あれもしなげや、これも
しなげやで忙しく過ごして
います。皆さんはどんな新
年を迎えましたか? ことし
も皆さんにとって良い1年
になりますように。広報は
ちまんだいもよろしくお願
いします。▽2月に事業所
を対象にした「経済センサ
スー活動調査」が行われま
す。1月中旬に調査票をお届
けしますのでご記入よろし
くお願いします。(齋藤)

この編集後記を書いてい
る今、外は雪が降っていま
す。八幡平市も本格的なス
キーシーズンの到来。今月
から市内でも各種スキー大
会が開催されます。今回紹
介した小林潤志郎選手の様
うに、世界を舞台に戦う選
手が生まれることを願ひ、
今シーズンもスキー大会を
取材します。そのためにも
体調管理と冬道の安全運転
を新しい年のスタートに誓
おうと思います。ことしも
広報はちまんだいをよろし
くお願いします。(北口)

※広報はちまんだい1月5日号(No.142)の印刷経費は1部51,082円(税込み)です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、市役所総務課広報統計係(☎・内線1218)まで。

